

千歳烏山駅周辺まちづくり情報誌

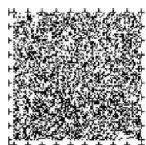
ちとからのこれから

01
2025.05



特集

第1回 ちとからまちづくりフォーラム開催!!
からぴょんグッズ紹介



烏山地域キャラクター
「からぴょん」



創刊にあたって

令和7年2月、烏山区民センターの集会室において、地域にお住まいの方や商店街、まちづくり活動団体等にご参加いただき、千歳烏山駅周辺のまちの未来について考えていく「ちとからまちづくりフォーラム」の第1回を開催しました。当日は、参加された皆さまお一人おひとりから、このまちの未来に対する期待や、こんなまちになってほしいという思いをお話いただき、活発な意見交換が行われ、またご意見をいただくことができました。

その一方、参加者アンケートには「千歳烏山で行われているまちづくり活動を知ることができてよかった」という声も多くあり、こうしたまちづくり活動がそれほど知られていないのだと気づきました。まちづくり活動団体による取組みは、それぞれの団体により情報発信されていても、千歳烏山駅周辺のまちづくりについて、何かにまとめて大きく掲載された記憶は、すぐには思い当たりませんでした。

そこで今後、まちづくり情報誌として「ちとからのこれから」を1年に1回程度発行して千歳烏山駅周辺のまちづくりの動きをお伝えし、「ちとからまちづくりフォーラム」とはまた別の形で、まちづくりについて広く知っていただく機会にしたいと考えています。

創刊号の今回は、「第1回ちとからまちづくりフォーラム」の開催状況を集特集として、当日の雰囲気が伝わるよう、発言内容は、できる限りそのまま掲載しています。手に取っていただいた皆さまに、千歳烏山のまちづくりに興味を持っていただけたら幸いです。

烏山総合支所長 和田 康子



CONTENTS

特 集

- 03 第1回ちとからまちづくりフォーラム開催
フォーラムの趣旨
- 05 まちづくり団体等の紹介
- 09 意見交換
- 13 アドバイザーのコメント/来年度にむけて
- 14 からぴょんグッズ紹介

開催

フォーラム趣旨説明

世田谷区 烏山総合支所 駅周辺整備担当課長
小田代 貴彦



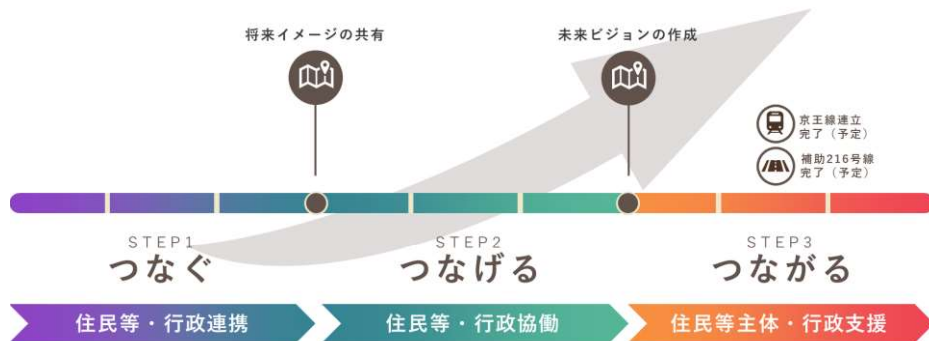
千歳烏山駅周辺の現状

街が大きく変化する機会を捉えたまちづくり

千歳烏山駅周辺では、京王線連続立体交差事業、駅前広場事業、都市計画道路補助216号線を整備する事業が進められており、区は、こうした街が大きく変化する機会を捉えて街づくりを進めております。

今後、都市計画事業が完成すると、商店街を中心として回遊性も高まることで更なるにぎわいにつながり、交通結節点としての機能向上も見込まれます。

また、駅周辺に点在する公共施設では、総合支所・区民センターの狭域化などの課題があり、公共施設の再編などについても考えていく必要があります。また、駅前広場南側地区では、地権者により再開発事業の検討が進められるなど、新たな取組みも進められています。こうしたハード面の街づくりが進められている一方で、住民主体のまちづくり活動も活発化している中で、駅を中心としたエリアで、更なる参加と協働により「まち」の未来を考えていくことを目的として、住民の皆様参加のもと、まちづくりの情報共有・意見交換等を行っていくため、今年度新たな取組みとして「ちとからまちづくりフォーラム」を立ち上げ、まちづくりのアイデアを出し合い、より良いまちの将来を一緒に考え、実行していきたいと思っております。



STEP 1-1 お互いを知る 駅周辺のまちづくりの概要 まちづくり団体等の取組み状況の共有	STEP 2-1 まちづくりの方針を考える イメージを実現するための方針の検討	STEP 3-1 持続可能なまちづくり活動 まちづくりフォーラムは情報共有・意見交換の場 エリアマネジメント協議会等の設置を検討
STEP 1-2 まちづくりの課題・期待を共有 駅周辺のまちづくり 現状の課題 将来の課題 将来への期待	STEP 2-2 アクションプランを考える 方針を実現するための具体的な方策の検討 持続可能なまちづくりのための運営体制の検討	STEP 3-2 手法検討(社会実験・都市再生整備計画等) まちなかウォークアブル推進事業 ほこみち
STEP 1-3 ちとからのこれからをイメージしよう 将来への期待を形にしていこうワークショップ みんなの「ちとからのこれから」をイメージ 「ちとからのこれから」将来イメージの作成・共有	STEP 2-3 未来ビジョンをつくる まちづくりの方針・アクションプランの取りまとめ	STEP 3-3 自主的なエリアマネジメント エリアマネジメント協議会の支援 継続的なまちづくり活動

ちとからまちづくりフォーラムの進め方(イメージ)

フォーラムの進め方

フォーラムは今年度限りではなく、今後、継続した取組みを想定しています。大きく3つのステップを考えており、まずは将来イメージをつくり、その後それを実現していくためのビジョンづくり、そして実行という流れを考えています。

烏山地域では「つながり」ということを大事にしていますので、そこを軸に、まちづくりの進捗や取組み状況を踏まえながら進めていきたいと思っています。

フォーラムの構成

区民の皆様、町会、学校、商店街、まちづくり団体、それから本日オブザーバーで来ていただいています。京王電鉄、専門家や区など多様な方々に関わっていただき、また、今後多様な方々に入っていただくことも想定しています。色々な視点をもった取組みにしていきたいと考えております。

各ステップについて
 ステップ1の到達点は、将来イメージづくりということで、約20年前に駅周辺で「商店街の時間」というイメージ図を、ワークショップ形式でつくって

いまして、ステップ1ではこうした将来イメージを新たに作っていくことを考えています。

ステップ2は、作った将来イメージを実現していくためのビジョンづくりを考えています。

一方で、ビジョンができてから行動するのではなく、フォーラム等をきっかけに出来たつながりを活かし、できることから取組みを実行し始めて、並行しながらそれをビジョンづくりにも反映していく、そのような進め方をしていきたいと考えています。

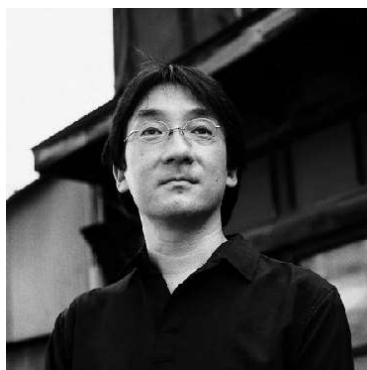
ステップ3は実行です。持続可能なまちづくり活動ということで、どのような体制や運営の仕方が望ましいのか。

エリアマネジメントと書いてありますが、これは手法の一例ということで、これに限定しているわけはありません。千歳烏山のまちづくりには、どういう形が良いか、それ自体をみんなで議論していくことが大事だと考えています。

第一回の今回は、今の「ちとから」を知る。そして将来の「ちとから」をイメージしながら、意見交換などをしていただき、来年度以降の取組みにつなげていきたいと思っています。



フォーラムの構成



アドバイザー

東京都立大学都市環境学部
 都市政策科学科

あいば
 饗庭 伸 教授

鳥山町会

町会の役割

町会は、回覧板を配っているだけかなとお思いかもしれませんが、実はそれだけでないのです。実は江戸時代からありまして、戦前戦後で役割が変化しました。戦前までは福祉のこともやっていましたし、非常に強い力もありました。そのため、日本が戦争に負け、占領軍が町会の活動を停止するほど、戦前の町会は地域のまとまりの中心だったのです。

鳥山上町会は昭和31年に設立し、回覧板から始まりました。当時は役所のことを伝える手段がなかったので回覧板が一番需要がありましたが、近年では区報やインターネットでも知ることが出来るようになったことで、だんだんと町会が廃れていっています。

ただ、私は町会というものはある意味で色々なことができます。今、町会で一番力を入れているのは防災です。在宅避難を皆さんはご存知ですか？マンションに入っている方は知らない方が多いので、町会が中心になって詳しく皆さんに伝えていこうという話があります。

あと、オウム真理教の問題、一生懸命反対する必要があるのかと思うかもしれませんが、3年毎に監禁処分を更新しているため、我々が活動を止めたら、あそこにいる警察官や公安調査庁の見張りはなくなってしまいます。だから我々はあそこで反対運動をしているわけです。

それも含めて今やっていることは上町会のHPにありますので、ぜひ見て下さい。町会は、会長が一生懸命やって、どんどん引っ張っていかなかったら、消えていきます。そのため、私は頑張ろうと思っています。是非、活動にご理解頂き、町会へ加入してください。

世田谷区鳥山上町会 会長
古馬 一行

団体等紹介

その1



商店街や地域、みんな集まって色々なことをやろう

もともとは鳥山ネット・わあ〜く・ショップというユニバーサルデザインの街づくりを進める活動をしている中で、商店街の方々と知り合い、2010年に、商店街や地域みんな集まって地域のためになる色々なことをやっていこうよというところから始まった活動です。子育てや福祉に取り組んでいる団体、音楽をやっている人、芦花公園で色々な活動をしている人、子ども食堂をやっている人、フェアトレードに取り組む人、最近では大学も一緒になってボランティアで地域を繋いでいこうという話をしています。

2011年に鳥山区民センター前広場で青空ワークショップというのをやりました。通りがかりの人達にも声をかけて「鳥山の好きな所はどこですか」「どんな

課題がありますか」と聞いたら、鳥山のいいところは便利とか、広場そのもの、寺町がいい、お店がすごく賑やか等、様々な意見が出てきました。課題として多かったのは防災や自転車問題でした。ほかにもまちなか観光とか、もっと鳥山のいいところをPRしていこうとか、ユニバーサルデザインとかそんな話が出ていました。それをヒントに地域でできることをみんなでやっていくということで、いくつかのプロジェクトが立ち上がり、月1回その情報を交換しています。防災冊子を作ったり、南鳥山2丁目みんなの庭の畑の管理などもやっています。会として、みんなで取り組むイベントもあります。からすやま夏まつりでの復興支援ブースの出展、夏まつりの後に広場で防災イベントをやっています。D型ポンプの水を使い、その残り水でどじょう堀み大会をやったら、子ども達がいっぱい来てくれ、親御さんたちも防災の話を聞いていただいています。その他、自転車のマナーアップイベントをやっています。誰でも参加できる活動なので是非ご参加下さい。興味があったらぜひお声がけください。



鳥山地域の力を集める会
福永 順彦

行政も一緒になって考え、共にいいまちをつくる

「鳥山ネット・わあ〜く・ショップ」は、世田谷区が5支所に分かれた1999年に福祉の街づくりのワークショップを行った際の鳥山支所のグループで、ワークショップ終了後、課題を出しているだけでは問題の解決にならないということで、一つ一つ問題を解決していこうと提案し、継続して現在も活動している団体です。

行政の人も一緒になって考えて、共にいいまちを作ろうという形で活動しています。

その中で一つの例として、車いすの方がバスに乗る時に、駒大グラウンド前のバス停から乗れないということで、どういうふうに解決すればいいかということで出来たのが、資料に掲載している駒大のバス停で、駒大の方

と東京都や世田谷区が協力して作ったバス停です。また、上北沢桜並木では、みんなで一緒になってどうすれば樹木を更新していけるかを考え、行政と一緒に桜並木を守る活動に繋がったというような例もあります。

決して行政に対してクレームをつけるような形でなく、一緒に考えていくことが非常に大事で、少なくとも鳥山支所の街づくり課関係の人達は、一緒に考えてくれました。ですから、我々は一緒にまちづくりをやっています。

今考えているのは、若い人達をこのまちづくりに巻き込んでいきたいと思っています。そんな中、2年位前に芦花高校の校長先生の所にご挨拶に行き、こういう活動をやっているのどと話したら今日、大勢の高校生を連れて来てくれました。これからのまちづくりは、若い人達をどんどん引っ張っていききたいなと思います。そして、住んでいるまちではなくて、住み続けるまちではなくて、卒業しても住みたいまちというようなかたちで、まちをもっともっと元気にしていきたいなと思います。これからは若者を引き込んだまちづくりと一緒にできたらなと思っています。

鳥山ネット・
わあ〜く・ショップ
稲田 信之



まちづくり

街を掃除することは気持ちがいい

「スクラムからすやま」は平成15年に発足し、街の清掃活動や街中にあるフラワーポットの花の植替えをしているボランティアグループです。今から20年以上前の地域通貨という言葉が盛んに言われている時に、商店街が発行しているダイヤスタンプを一種の地域通貨とみなして、どういう流れをするか検証してみようということで、街で清掃活動してくれた人にダイヤスタンプをあげ、それがどういうふうに使われるかを実証実験をしました。実証実験が終わった後、参加してくれた人達から、街を掃除するというのはとても気持ちがいいので続けたいと言われたのを契機に活動がスタートしました。

それからちょうど今年の2月で22年が経ち、今年度は23年目になりますが、少ない時でも30人、多いと50人。ボーイスカウトは団体でくと60人ぐらいきた時もあった、掃除用具が足りなくなったりすることもありましたが、おかげさまで地域の人達と街を清掃しながら、また花壇をきれいにしながらずっと活動を続けております。

最近では、FC東京が地域と交流したいというお話があり、今、5つの商店街が鳥山にあるんですが、それぞ

れにFC東京のペナントが掲げてあります。その第2段として、FC東京からスクラムからすやまが管理するフラワーポットを青赤の花でいっぱいにしたいという話があり、今度の3月2日に200鉢FC東京から花が届き、植替え作業を行います。とても我々の手だけでは足りない、チラシを配布したりして、その作業をする人を募集しております。3月2日午後1時、もし皆さんお手隙でしたら是非ご参加頂いて、一緒に我々とフラワーポットに花を植えて頂ければなと思っています。

スクラムからすやまは、特に会員制でもありません。毎月第1日曜日朝9時鳥山区民センター前広場で行っておりますので、自由に参加頂ければと思います。

これからもよろしくお願いいたします。

スクラムからすやま事務局
田中 省一



50年に一度の街が大きく変化する機会を捉えて

「千歳烏山駅前広場南側地区市街地再開発準備組合」、僕も見ながらでないと言えないくらい長いですが、理事長を勤めさせていただいております栗山和久と申します。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、踏切南側のスーパーマーケットのシミズヤというお店を営んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。

この準備組合に関しては、京王線連続立体化が進んでいたり、駅南側のバスロータリーの事業が進み、既にうちの隣の「たちばな」というお菓子屋さんがなくなってしまっていたりと、このまま整備されると商店街、踏切南側の商店街の約4分の1程度がなくなってしまう。そうすると、街のにぎわいがなくなってしまうのではな

いか。こういうふう非常に心配をしております、地権者が集まって組織を立ち上げて活動しています。再開発というと、イメージ的に大手に上手くやられてしまうのではないかと、行政が勝手にやっているのではないかと等心配される方も多いと思いますが、そういうのでは決してなく、地元でお店を営んだり、住んでいる人が中心となって組織しています。僕が子どもの頃、商店街の踏切の通りは6m、狭い所だと4mだったと記憶をしていますが、今は拡張されて12m。自動車がよく通るので使い辛い面もあると思うのですが、以前から比べると2倍3倍の広さになって、非常に回遊性が上がったと思っています。ただ、道路を広げるためにお店をやっていた方とかが後ろに下がったりしている、セットバックしてお店がなくなってしまう等もあって、今があると思うのですが、だいたい50年くらい前の話だと思います。今回も京王線連続立体化、バスロータリー、大きく街が変わる機会をとらえて、再開発という手法を使って検討をするということを進めさせていただいております。



千歳烏山駅前広場南側地区
市街地再開発準備組合 理事長
栗山 和久

その2

団体等紹介



ストレスのない活気に満ちた街を目指す

駅周辺には実は5つ、個々の商店街というものがございまして、旧甲州街道を中心とした烏山商店街、それから先ほど説明がありました栗山理事長のところ、駅前通り商店街、西口改札の西口駅前商店街、ライフ周辺の南口商店会、私は実は南口商店会の会長をやらしてもらっております。それと郵便局がある南烏山6丁目商店街、合計5つの商店街が2019年11月に連合会を発足致しました。

この連合会を作った背景は、京王線の連続立体化事業、それから駅前広場、それから南側の再開発。こうした街が大きく変わっていく、人の流れが変わる、車の流れが変わる、自転車の流れも変わる、商店街も大きく変わっていく、外的な変化がある中で、我々商店街としても、どういう街にしていくかを検討するため、連合会の中に2019年の11月に街づくり委員会を発足しました。

2019年以降、色々活動しようと思った瞬間、コロナで様々な活動が制約されていましたが、2022年4月に「ちとからまちづくりデザイン」をとりまとめたということが大きくございました。これは我々商店街としての考えでございますが、商店街としてストレスの

ない活気に満ちた街を目指していこうと。住んでよし、商いてよし、来てよしの街にしていこうということで、歩きやすい街、活気に満ちた街、安全安心な街という3つの方針を作りました。現在、我々はこの方針に基づき活動しており、取り組んでいるのは「新しくできる道路の無電柱化」、これは既に行政の方にも要望を出しました。それから商店街としての情報発信、それから皆さんも頭のどこかにあると思いますけど、自転車対策。これも商店街として、どういうことができるのかということをも勉強しながら活動をし、取りまとめに向けて動いているところで、このまちづくりフォーラムにおいても我々商店街として、どういう情報交換を共有、対応ができるのかという協力のもと進めていきたいと考えております。



千歳烏山商店街連合会
街づくり委員会 委員長
内藤 昌彦

困った時、悲しい時にホッとできる場所づくり

私どもの「一般社団法人ななつのこ」は区民の立場で、街の中で色々な方が繋がり、そして自分の力を少しずつ発揮できる場所があればいいなという思いで、日々取り組みを進めております。「コミュニティカフェななつのこ」をご存知の方もおられるかと存じますけれど、コーシャハイム千歳烏山の中で、建て替えによる小さな再開発の中で11年ほど前に生まれました。当初は別の非営利法人が運営していましたが、そこに集って来た烏山の街の人材の中で地元の力で頑張っていこうねということで社団法人として立ち上げて、2020年から現在の形になりました。ソーシャルキャピタル、エンパワーメント、と資料に横文字がありますが、簡単に申しますと、街の中で顔の見える安心した関係づくりのお手伝いをしていきたいと考えています。

一番初めにななつのこを立ち上げた時に思ったことは、嬉しい時はみんなで喜べるけど、困った時とか悲しい時にちょっとここにきてほっとして、誰かに困っているんだと言えるような場所が街の中にあったらいいなということでした。もう1つが、街は人材の宝庫だとずっと思

っていますが、個人の立場だとなかなか何か街の中でやろうと思ってもできる場所が少ない。場所があればできるんだけどなと長々と思ってきたこともあり、今、こうした場づくりがななつのこの中で少しずつできているかなと感じられるのはありがたいことだと思っております。

具体的な取り組みといたしましては、コミュニティカフェの運営、烏山地域の緑化事業のお手伝い、色々な人材を紡いで子育てからシニアの方を繋いでいけたらと思っております。コミュニティカフェは（日曜日・祝日の定休日以外は）毎日やっておりますので、是非、皆様お茶を飲みまわらっしゃりながら、こんなことをしたいとお伝えいただければと思います。



一般社団法人ななつのこ
代表理事
鎌田 菜穂子



まちづくり

からびょんを通じてもっと面白いことを

みなさん、からびょん知っていますか？からびょん好きですか？（会場から拍手）良かったです。

私は「株式会社まちづくりステーション」という烏山のまちを活性化するために、住民と商店街、その他色々な団体が連携した事業を行うために作られた非営利型株式会社にあります。そこでキャラクター事業部をやらせていただいております。

この非営利型株式会社というのは、もし儲けが出た時に株主に配らないで地域のために還元することをうたっている会社です。



(株)まちづくりステーション
キャラクター事業部
宮地 成子

当初は駅前の駐輪問題を解決しようということで立ち上がった団体ですが、烏山地域のキャラクターが街を元気にするために、もっともっと活躍できるといいなと思って「まちづくりステーション」の中にキャラクター事業部を入れてもらって、やっているところです。

烏山総合支所でプロジェクトチームができ、烏山地域のキャラクターをつくろうという時に関わらせて頂いているのですが、「烏山だからカラスのキャラクターだよ、カラスって黒いよね、真っ黒でカラスのキャラクターは怖いよね、それを絶対かわいくしよう」と、このキャラクターが生まれました。

今はグッズ販売をしたり、お祭りに出店したり、イベントの時にからびょんが活躍するようなことを取り組みながら、“からびょん”がみんなを繋ぐ役割を担うといいなと考えてます。

これからももっともっと面白いことが、からびょんを通じてできるといいなと思っています。よろしくお願いします。



意見交換では、参加者の皆さまにテーマA・Bについて意見を付箋に記入頂きました。模造紙に整理した意見を投影により紹介し、記入した方のお話を伺いながら、会場の皆さまと意見交換を行いました。当日の発言内容をご紹介します。

は当日ふせんのみご紹介した項目です。模造紙のふせんの内容はこちらからご確認ください。

ふせんデータ▶



意見交換

テーマA 現在の「ちとから」の好きなところ、住んでいる理由

○商店街 | 飲食店

「飲食店が豊富で良い店が多い。
クオリティが高くコスパが良い」

25年程烏山住んでいる。
飲み歩くのが好きで、常々思っている。



○商店街 | スーパー

「いろいろなスーパー特にシミズヤ、
駅前のスーパーの充実」

商店街がとてにぎやかなのがこの
まちの特徴のひとつだと思う。シミズヤ
も創業して70年を超えた。古い店が多い
印象がある。個人の店が多く、チェーン
店が少ないことが烏山らしさ、烏山
の特徴のひとつだと思う。



○商店街 | 好きなところ

「ダイヤスタンプが好き」

ダイヤスタンプを集めて観劇のチケットに変えたり温泉に行ったりしている。シミズヤさんの好きなところのひとつはダイヤスタンプがあるところ。

ダイヤスタンプは昭和40年にスタートし、今年で60年になる。最近加盟店が減ってきて、昔に比べると元気がなくなってきている。そのような状況で、商店街には事業委員会があり、どんなイベントやチケット交換が良いかを、毎月定例会で若い人を中心に考えている。なかなかスタンプが集まりにくいという声もあり、1冊2冊で何ができるかに重点を置いている。高尾山の温泉が人気ある。下高井戸シネマや東宝シネマのチケット、FC東京の試合のチケットなどいろいろある。お客様のニーズをもとに魅力があるチケット交換ができるように検討している。

みどり

「にぎわいと農業空間が至近」

少し入ると広々とした農地がある。にぎわいから近く、歩いていける距離にある。農地と住民が交流できるまちづくりができると良いと思う。

からぴょん

「からぴょんがとてもかわいい、
駅前通り商店街のエルくとモールちゃんも
かわいい」

とてもかわいくて大好き。エルくと
モールちゃんの出でくる姿が減ったかな
...。からぴょんを見ているだけで心が和
むまち。ただ、ダイヤスタンプの交換場
所が3階で車椅子が入れない。改善して
くれると嬉しい。

公共施設

「暗渠が多い」

農地の話と繋がるところがあるが、不思議なブロックの壁や橋の跡のようなどころをよく見かける。調べたら、昔の農地の水路に蓋をした暗渠が結構多い。昔の地図にも暗渠の跡が書いてある。歴史を勉強するきっかけにもなった。



ほどよい 街のサイズ



住民参加

「ななつのこを見つけた時の嬉しさ」

3年前に引っ越してきて、北烏山に住んでいる。こういう空間が地域にあるのが良く、お茶を飲みに行く。いろいろなイベントがあるのが良い。

「やさしい人が多い、
助け合い・思いやりの心がある」

登校時に周りの人に助けてもらったことがある。店員さんも優しく対応してくれる人が多く、ちとからは優しいという印象がある。



住まい

「地味だけど
故郷で住みなれたところだと思う」

烏山に生まれ育ち、仕事の関係で大阪や横浜に行ったが戻ってきた。オシャレなまちではないが、横浜の大倉山のギリシャ風建築が並んでいるようなまちとは違い、地味だけどそれが良さでもある。大阪や横浜ではあまり感じられなかった居心地の良さがある。

まとめ

現在の千歳烏山の好きなどこ

ろについて、ご意見を頂きました。
まず、交通の便、非常に利便性
が高いとお話がありました。特急
が停まる、新宿・渋谷にも近い、
バスの乗り継ぎも便利だといふこ
とで、絶賛されています。

次に区民センター前広場、電車

を降りるとすぐ広場があり、そこ
から街へ広がっていく、ちょうど
ハブのような役目を担っています。
商店街については、一言で言う
と非常にバラエティに富んでいる。
個店が多く、それぞれでひいきに
しているファンの方がいっぱい居
る。美味しくて飲み歩きもできて
コスバもいい。しかも、ごちゃご
ちゃしているわけではなく、サイズ
感も心地よいというあたりが千歳
烏山の特徴かと思っています。また、
こういうお店もほしいとご希望も
出てきました。まだまだ発展でき
る可能性があるのだと、皆さんが
期待しているのがよく分かります。

住民参加では、実は住民が主体
的に動いている活動が沢山あると
いうふうに一歩踏み込んでまとめ
にしたいと思います。色々なイベ
ントや美味しい食事がある「なな
つのこ」等の素晴らしい拠点が新
たに出来つつあるということも皆
さんの評価したいところでありま
した。

決して派手でオシャレな街では
ないかもしれないけど居心地がよ
い。優しい人達が沢山おり、和気
あいあいと皆さんで過ごしておら
れる、そういう街の様子がよく伝
わってまいります。



次ページへ

交通の便（利便性）

○ 電車

「郊外へのアクセスの良さ」

高尾山、西に行くのが便利。
さらに山梨の方へ行くのが便利。
特急が停まるようになってから
アクセスが非常に良くなった。



○ 自転車：平坦な地形

「坂が少ない」

8年前に杉並区高井戸から引っ越し。高
井戸は神田川の影響もあるようで坂が多
かった。それに比べ千歳烏山は坂が小さく、
自転車で子供を乗せても移動がしやすい。
引っ越しきっかけのひとつ。



坂が少ないので自転車も車椅子も動きやすい。
これからもっと大事なことは段差をなくすこと。
駅の整備はこれからであり、千載一遇のチャンス。
本当に居心地の良いまちをつくるのであれば、京
王線連立事業のタイミングでそういったことがで
けると良い。



○ バス

「バスや電車の公共交通が便利」

バスの便が良いと通学するときに便利。
電車の駅から遠い所からでも通える。
人が集まる良いところだと考える。



商店街

○ 商店街 | にぎわい

「ほどよいにぎわい」

“ほどよい”がキーワード。
すごい都会ではないが、静か
でもない。丁度良いサイズ感
で等身大のまち。



○ 商店街 | 個人商店

「個人商店が多く唯一無二の感じが印象的」

7年間烏山に住んでいる。
飲食店が他にない美味しさとコスト
パフォーマンスでバランスが丁度良い。
それが烏山で自慢するところ。



○ 商店街の良さ

区民センター前広場

「区民センター前広場がイチオシの場所」

商店街の中心にあればみんなが自由に使える、
いろいろな人が集まれる空間が残っているのは貴重。
烏山の特徴なので絶対に残してほしい。



千歳烏山に住んでいる理由

ずっと海外にいてアメリカから6年前に帰国。
世田谷区に公立で日本語を補習してくれる小学校が
あったため、小学校近くに住みはじめた。ずっと暮
らせる家を探し、現在は給田に住んでいる。出張が
多いのでアクセスの良さ、仙川沿い緑道の自転車の
乗りやすさ、ランニングしやすさ、安全でおっとり
した感じで、子どもたちの通学環境の良さが気に入
っている。



8年ほど前に関西から引っ越し。新宿に出やすい、
区民センター前広場でバザーなどいろいろなイベ
ントがある、図書館がある、商店街に個人の店が
多いことなどが良いなと思いここに住むことに。



「みどりの森」になったらしい、街中が森になるくらいイメージを描いて下さるような提案や、街中に果樹を植え、できた果実は誰でも食べても良い、そんな街になつたらすごくいいなという話がありました。

「ユニバーサルデザイン」では、先駆的に活動している方もおられますので、一緒に街全体でこれから取り組むべき課題を見つけていくのが大きな課題のひとつというふうに皆さんお話しして下さったそんなまじめになるかと思えます。

「子育てをする街」として、街中に子ども達が沢山いることは街の活気につながりますし、子育てをする方達が街で色々活躍できるような街づくりを進めていくといういいのではないかと、いうふうに頂きました。

「道路は安全に歩け、散歩が楽しくなる」そういう街になつていくといいなという事です。また、道に關しては、「自転車」の話が多く、皆さんは、これから増々この街の人氣が高まるにつれて、自転車は増加すると予測しておりますが、これを解決することが出来れば、まちの魅力向上につながると思います。

テーマB 将来の「ちとから」でこんなことができれば良いな

駅前広場南側地区



世田谷区

駅の南側で地権者による再開発準備組合により再開発事業の検討が進められている。魅力ある空間にしてほしいという声、反対の声もある。どちらということではなく、いろいろな意見があるということを認識した上で、まちづくりを進めていくことが大事だと思う。

にぎわいをなくさないようにする、店の営業を継続させる、住んでいる人が住み続けられるということが大きな目的となっている。様々な意見も踏まえ、今後も検討を進めていきたい。



商店

「駅以外の地域。商店の発展」

北烏山や粕谷の方に美味しいお店を見つけることが多いが、行く機会が少ない。

駅前がこれだけ発展しているので、千歳烏山エリア全体がつながりをもってひとつになると、みんなが全体を知ることができ、いろいろな場所に行く機会ができるようになると思う。



防災

「近くの中学校・高校に
防災イベントに参加してほしい」

大人に頼ってばかりではいけない。
私たち高校生も防災の活動に参加していかなくてはならない。



中学生や高校生は本当に力になる。
町会には年寄りが多く、あまり動けない。
そういう意味でも皆さんの力は必要。
ぜひ活動してほしい。



情報発信

多文化

「多様な文化的背景をもった人々が一緒に暮らせる」

いろいろなルーツがありそうな人がまちに増えていると実感していて、にぎわいやまちづくりの話にも、当然のようにそういう人達も入ってほしい。

きれいなまち

市民とのつながり 場づくり

住宅・高齢者

鉄道

居場所

「地域の皆さんと学生がコラボしたイベントや商品が作れるといい」

地域に開かれた学校、学生の学びということなどを考慮し、お店もたくさんあるので、コラボして商品をつくることで、世の中に出た時にこういうふうに行けるといいなというイメージが広がっていくような、また、地域にも貢献できるような教育活動ができればと思った。



市民の力

高校生などまちの若い人達をまちづくりに引っ張り出していきたい。今日も良い意見を出してくれている。烏山には芦花高校、世田谷泉高校や佼成学園女子もあるので、この流れを変えずに、高校生などとまちづくりができると面白い。



イベント

「寺町だから法話をイベント化したい」

お寺がたくさんあることは知っているが、あまり有名ではないかもしれない。お寺がたくさんあり、法話をたくさんやっているの、イベント化して烏山以外の人にも知ってもらえれば、烏山の知名度を高めるきっかけになる。



「アートや音楽に溢れる街」

若手作家が鳥山で挑戦できるのはアート・音楽の香りが街中に漂う街。この街がアーティストにとっても気に入られる住みたい街になってくれるといいのではないかとという提案でした。

「再開発」について高さのご意見も頂きました。また一方で、せっかく作るならとびきり魅力的な屋外空間を、大きく変わるのなら誰に対しても自慢ができるようなものになるといいなというご意見も頂いております。

「防災」の意見の中で私達も街づくりに関わりたいというようなことを、高校生が言ってくれました。特に、大人ばかりに頼ってられないという発言はインパクトがありました。

最近、「多様」な国の方が街の中にいらつしやることを目にするようになりました。できればこのフォーラムにも参加してもらえよう、みんなで考える場をたくさん用意して下さいとコメントを頂いております。

「色々な人が主人公」になれば、参加できるイベント、例えば年齢に関係なく参加できるスポーツ大会、あるいは、法話イベント等、街の特色を見える化する。ことに繋がるご提案もあります。本当に千歳鳥山の街の良さを皆さんが色々な角度からご覧頂いて、尚かつその可能性がまだまだこれからの街ということを実感させるコメントをたくさん頂きました。

ファシリテーター 奥村玄

道路

みどり

「エディブルタウン」

イギリスのトッドモーデンがエディブルタウンと言われている。野菜等を植えることをゲリラ的に始め、それが次第に定着していき、町中に野菜や果樹が植えられ、誰でも食べることができるようになった。お金がない人も食べられる。人の家のものではなく、公共の空間で採って食べられたらいいと思う。



昔の一軒家ではみかんを植えることが多く、それらの家で実って落ちた果実を集めてジャム等にして売っているまちづくりの話聞いたことがある。そのようなところから始めてみるのも良い。果樹の良いところは、植えた人も含めコミュニティで世話をするので、無理にでも仲良くなるという良さもある。



育てやすいものはたくさんある。採るときに皆が不公平感がないように、みんなで一緒に考えていけばきっとうまくいく。楽しいと思う。



安全な道・自転車

「駐輪問題の活用」

→日本一自転車が使いやすいまちにする

長年駐輪問題が課題だが、課題になるということはそれだけ人が集まるということなので、それを逆に活用できるのではないかと。日本一停めやすい・使いやすい駐輪場が完備されたまちにすることで、近くの駅に住んでいる人も来るようになれば、まちを利用する人も増える。



サステナブル

宿泊施設

広場

「住んでいる人が世話をすることができる広場」

散歩

世話をすることに関して、先ほどのエディブルの話で、世田谷区でも食べられるものを植えることが可能になり、南鳥山2丁目の公園の中に畑があり、食べられるものを作っている。下北沢でも活動している方がいて、みんなが使いはじめると、ルールも変わるのかなと思っている。行政にやってもらうのではなく、自分たちで世話する場所があると関係も変わっていくと思う。



ユニバーサルデザイン

「広場に限らず商店街の道でイベントができたら！」

商店街にキッチンカーやイベントがあると、もっと楽しい雰囲気の商店街になると思う。



子育て

「子育て家庭の女性が活躍できるまちづくり」

商店街や街中で、お母さんたちがバギーを押しながら子連れで行き来したり買い物したりするのは、将来を考えると良いと思う。ただし、お父さんが仕事でお母さんが家庭で、子どもがいるという状況では、女性が活躍できる場が小さくなる。それをフォローできるまちづくりが良い。



世田谷区

「まちをあげての音楽祭」

鳥山は音楽の香りがしない。仙台で定禅寺ストリートジャズフェスティバルを開催するようになった後、ジャズミュージシャンが急激に増えた。鳥山には区民センター前広場や区民ホール、広い商店街エリアがあり、音楽祭を行うには絶好のロケーション。若者も楽しめて、定着するイベントになると思う。



アドバイザー 饗庭 伸 教授

アドバイザーのコメント

1つ目は、コロナの時にパリ市長が15分都市（住まいから15分以内で色々なサービスが満足できる都市）をつくると言っていました。世田谷はすでにできているんです。誰かが頑張ったわけではないけど、なんとなく上手くいっている感じがありません。とてもいい状態からスタートできるといところが、烏山のまちづくりの最初のスタートラインなのかと思います。

2つ目は、多様な人、子育て世代、多国籍等のお話がありましたが、私も足りないなと思ったんですよ。なので、次回までに皆さんにお願いしたいのは、その人たちを呼んでくるのは結構大変なので、ちょっと話を聞いてみるのか、その人の気持ちがあく少し代弁できるようにしたい状態、次回来ていただけたらすると広がるかなと思いました。

3つ目ですが、駅前の再開発と高架化等について意見がたくさん出なかったなというのが意外なことでした。あれだけ街が変わりますから、今のタイミングで皆さんもつと具体的なことをたくさん言えるといいと思います。もちろんその通りになるというわけではありませんが、少なくともこの段階であれをしよう、これをしよう、いくつかあるわけです。あれだけのものができるといのは、街に新しい機能を持ち込む大きなチャンスですから、具体的な色々なことを言っていたらいいなと思います。最悪なのは、SNSで悪口言いくるとか批判しまくるとかはやめにして、こういう場所でお互い顔が見えるところできつちりやる。この場合は、それを考える場にしたいっていただければいいかなと思いますし、もちろん京王電

鉄さんとか再開発の組合さんとか、東京都とか世田谷区とかがつくっていくわけなんですけど、100%伝わるわけではないですが、すごくいいことを言っていたら耳に入ってやってしまうかもしれません。こういう自由な意見交換の場は、それがとても大事だと思いますので、是非次はそういうところにもいろいろ展開できればいいかなと思います。

最後なんですけれども、今日すごくいい雰囲気でしたよね。僕も見えていて楽しかったです。ここから先、ちょっと喧嘩したりするんですよ、まちづくりをやっていると。喧嘩とか辛いことがあったりするんですけど、その時に、この楽しかった、あの時はみんな前で前を向いてこんなことを言っていたよねということ、思い出そうにしましょう。この空気を忘れずに、それで一年後になんか喧嘩したときに見返して、あの時にこういうことを言っていたよね、だからこうだね、今日はスターラインとして振り返るような場になったらいんじゃないかなと思います。どうもありがとうございました。

次年度にむけて

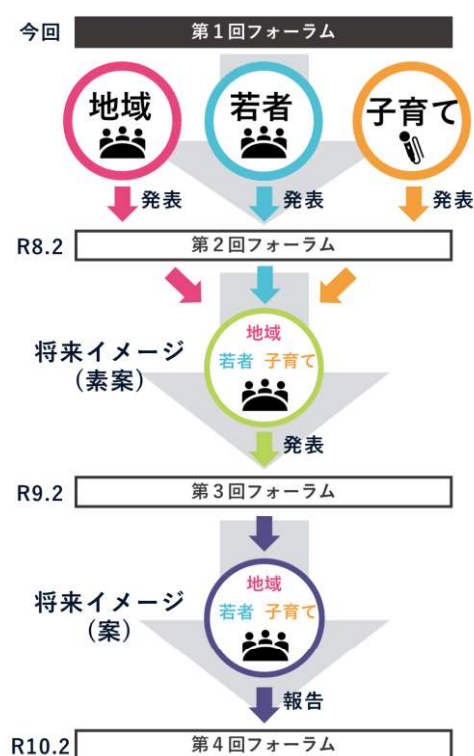
将来イメージづくりを大きく3つの視点で行い、それを集約していく流れで考えています。烏山生まれや長く住んでいたり、関わっていたりなど、地元の方々が考える将来イメージ、本日参加している地元の高校の方々が考える若者がつくる将来イメージ、さらに子育て世代が考える将来イメージの3つの視点です。想定ではありませんが、こうした多様なご意見・アイデアを取り入れられるような工夫をしていきたいと考えています。

本日のようなフォーラムの全体会は年に1度開催したいと考えています。ワークショップに参加できないという方もいらつ

しゃると思うので、そうした方からのご意見もここで頂くことを考えています。

第2回フォーラムでは、先ほどご案内した3つの将来イメージの発表を想定しています。第3回では素案の発表、その翌年度は将来イメージの案をまとめしていくことを考えています。

案の段階になりますと、次のビジョンづくりも見据えた議論などをしていくことも考えています。こうしたステップを踏みながら、住民参加で街づくりを考えていきたいと思っています。街の将来像を見える化して、まちづくりの基本理念として共有し、協働しながら実現をめざしていきます。



次年度以降の進め方のイメージ

からびょんグッズ



バックには
尻尾があるよ!!

蕨花祭り等の烏山の
イベントにオススメ!!
① Tシャツ ¥2,500(税込)
子供用/110,120,140
大人用/S,M,L,LL



七宝柄が素敵な2色
(紺・ピンク)を用意
② てぬぐい 各¥1,800(税込)

カバンやバックに
いつでもからびょんを!!
③ 缶バッジ(大) ¥300(税込)
(小) ¥150(税込)



木目がきれいな
マグネットです
⑥ マグネット ¥350(税込)



学校やオフィスで大活躍!!
④ ふせん ¥300(税込)



大容量でお買い物にも最適なバック
顔のみ・全身の2種類のデザインを
2色(紺・青)で用意しています!!
⑤ マルシェバック 各¥2,000(税込)



からびょんの焼印が押された
棒状のパズルです
⑧ パズル ¥200(税込)

四角と三角の
2種類あります
⑦ カード立て ¥250(税込)



取扱店は
このペナントが目印!!



取扱店

えるもーる事務所

取扱い商品: ①②③④⑤
南烏山6-3-1 ダイヤ会館3階
☎ 03-3300-0181
☐ 9:00~16:00 ☐ 土日祝日

メモリードセレモニー サポートセンター 千歳烏山店

取扱い商品: ①②③④
南烏山6-2-1
☎ 03-6909-0556
☐ 10:00~18:00 ☐ 不定休

Qs ANOTHER HOUSE (世田谷キューズガーデン コミュニティスペース)

取扱い商品: ①②③④
給田1-3-42
✉ mail@setagaya-qgtm.info
☐ 10:00~17:00 ☐ 月火

クラルテ

取扱い商品: ①②
南烏山5-13-4
☎ 03-3308-5306
☐ 11:00~20:00 ☐ 火

コミュニティカフェ ななつのこ

取扱い商品: ①②③④
南烏山6-12-12 コーシャハイム
千歳烏山12号棟1階
☎ 03-5969-8457
☐ 平日 10:00~20:00
土 10:00~17:00
☐ 日祝日

世田谷区立 烏山福祉作業所

取扱い商品: ⑥⑦⑧
北烏山1-29-15
☎ 03-3326-8001
☐ 8:30~17:00 ☐ 土日祝日

世田谷区文学館 ミュージアムショップ

取扱い商品: ①②③④
南烏山1-10-10
☎ 03-5374-9111
☐ 10:00~17:30
☐ 月(月曜が祝日の場合は翌平日)

まちづくりカフェ Muimui

取扱い商品: ①②③④
南烏山5-24-7 第2栄栄ビルB1階
✉ muimui.karasu@gmail.com
☐ メールにてお問合せください
☐ メールにてお問合せください

※在庫の有無やお値段については変更する場合がございます。詳しくは店舗へお問い合わせください。

ちとからのこれから Vol.1

発行月 2025年5月
発行所 世田谷区烏山総合支所
駅周辺整備担当課
〒157-8555
東京都世田谷区南烏山6-22-14(分室)
TEL:03-3326-9836
FAX:03-3326-6159
編集・制作 世田谷区烏山総合支所
駅周辺整備担当課

ちとからまちづくりフォーラムの情報

[まちづくりに関するメルマガ配信中]



フォーラムに関する
ワークショップ等の
開催案内やまちづくり
活動に関する情報を
配信します



第1回フォーラムの
配布資料等はこちら
世田谷区HP
ページID [20764]



THE KARAPYON HULA DANCE

< 出演・撮影編集 >
日本女子体育大学
ダンス・プロデュース研究部

< 編曲 製作 >
スタジオM's Base
Wacabool / YUE ♪

< フラダンス振付 >
Mohala O Nā Pua
Wailana Kasumi

 **SETAGAYA CITY**

